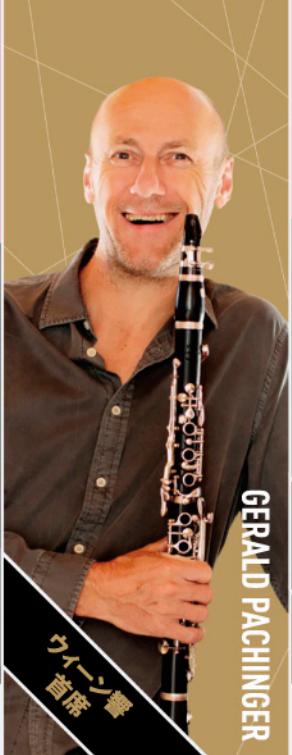


ウィーンとベルリンの首席奏者が集う、世界最高峰の木管五重奏  
スーパー・アンサンブルの美技に酔う！

SENKEN  
PRESENTS

# Ensemble Wien-Berlin

## アンサンブル・ウィーン=ベルリン



リゲティ:6つのバガテル György Ligeti: 6 Bagatelles

ミヨー:ルネ王の暖炉 op.205 Darius Milhaud: La Cheminée du Roi René, op.205

ロッシーニ(シェーファー編):歌劇『チェネレントラ』によるハルモニームジーク より

Gioachino Rossini (arr. Ulf-Guido Schäfer): Harmoniemusik zu La Cenerentola

メンデルスゾーン(シェーファー編):弦楽四重奏曲 第5番 op.44-3

Felix Mendelssohn-Bartholdy (arr. Ulf-Guido Schäfer): Streichquartett No.5, op.44-3

ニールセン:木管五重奏曲 op.43 Carl Nielsen: Wind Quintet op.43

2022

9/29 [木] 19:00開演(18:15開場) 紀尾井ホール

全席指定(税込): S席 7,000円 / A席 5,000円

お申込み | e+(イープラス) [eplus.jp](http://eplus.jp) / チケットぴあ [t.pia.jp](http://t.pia.jp) [Pコード:218-443]

ヒラサ・オフィス 03-5727-8830 (平日10:00-17:00)

お問合せ | ヒラサ・オフィス 03-5727-8830

カール=ハインツ・シュツツ | フルート

ジョナサン・ケリー | オーボエ

ゲラルド・パッヒンガー | クラリネット

リヒャルト・ガラー | ファゴット

シュテファン・ドール | ホルン

Karl-Heinz Schütz, flute

Jonathan Kelly, oboe

Gerald Pachinger, clarinet

Richard Galler, fagotto

Stefan Dohr, horn

一般発売

6/6 [月]  
10:00～  
発売開始

\*未就学児の入場はご遠慮ください。\*都合により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。\*感染症対策へのご協力をお願いいたします。

# Ensemble Wien-Berlin

3年ぶり待望の来日公演。新メンバー加入、日本初披露！

## アンサンブル・ウィーン=ベルリン

Ensemble Wien-Berlin

1983年にウィーン・フィルとベルリン・フィルから集う桁外れのソリスト5人、シュルツ(Fl. ウィーン・フィル)、シェレンベルガー(Ob. ベルリン・フィル)、ライスター(Cl. ベルリン・フィル)、トルコヴィッチ(Fg. ウィーン響)、ヘーグナー(Hr. ウィーン・フィル)によって設立され、「スーパー・アンサンブルの誕生」と熱狂的な喝采をもって世界中の音楽界から迎えられた。以来、メンバーを徐々に変更しながら活動を続けてきたが、2013年に30周年を迎えたのを機に、ザルツブルク音楽祭、ウィーン、ベルリンでの演奏をもって、最後の創立メンバーであったシェレンベルガーが引退。完全に若返る形で、新生アンサンブル・ウィーン=ベルリンとして新たな船出をした。

その後、2015年、17年、19年と日本ツアーを行い、会場には若い聴衆も詰め掛け、いずれも大成功を収める。新しい感性と卓越したテクニックで、これまでにない更なるレパートリーの拡大にも力を注ぎ、木管五重奏の新境地を開拓。2022年5月にクラリネット奏者が代わり、グループとしてのさらなる飛躍が期待されている。



### ジョナサン・ケリー(オーボエ)

Jonathan Kelly, oboe

#### ベルリン・フィル首席

イギリス生まれ。ケンブリッジ大学で歴史学を学び、ロンドンの王立音楽アカデミーとパリ国立高等音楽院でオーボエを学ぶ。バーミンガム市交響楽団首席オーボエ奏者を10年間務めた後、2003年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者に就任、また、ソリストとして定期的にベルリン・バロック・ゾリストンと共演を続け、CDの録音も積極的に行っている。また、シャルーン・アンサンブル・ベルリンとも頻繁に共演、ツェルマット音楽祭では、演奏者としてだけでなく、講師として教育活動にも参加をしている。



### カール=ハインツ・シュツツ(フルート)

Karl-Heinz Schütz, flute

#### ウィーン・フィル首席

オーストリア生まれ。オーレル・ニコレ等に師事。カール・ニールセン国際フルート・コンクール等で優勝。ウィーン交響楽団首席フルート奏者等を歴任。客演奏者としてバイロイト祝祭管弦楽団等に客演。ソリストとしても様々なオーケストラと共に演奏、好評を博す。またウィーン・リング・アンサンブルや、アンサンブル・ウィーン=ベルリンのメンバーとしても活躍。ウィーン国立歌劇場管弦楽団の首席ソロ・フルート奏者、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・フルート奏者。ウィーン・コンセルヴァトリウム音楽大学のフルート科教授。



### ゲラルド・パッヒンガー(クラリネット)

Gerald Pachinger, clarinet

#### ウィーン響首席

オーストリア生まれ。ペーター・シュミードルに師事。クラウディオ・アバド率いるグスタフ・マーラー・ユース・オーケストラに創設メンバーとして入団。1987年10月より、ウィーン交響楽団首席クラリネット奏者を務める。ルイージ・サヴァリッシュなど多くの指揮者とソリストとして共演。室内楽奏者としては、ウィーン木管アンサンブル、ウィーン木管五重奏団、ウィーン室内合奏団のメンバーを務める。ザルツブルク音楽祭をはじめとする数多くの音楽祭にも招かれる。2004年よりグラーツ国立音楽大学の教授を務めている。



### リヒャルト・ガラー(ファゴット)

Richard Galler, bassoon

#### ウィーン響首席

オーストリア生まれ。1987年9月より、ウィーン交響楽団の首席奏者を務めているほか、ブランドのバブロ・カザルス音楽祭、札幌のパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)ほか、著名な室内楽音楽祭に定期的に出演。2010年よりウィーン室内合奏団のメンバー。ソリストとしても世界各地で活躍するかたわら、1997年から2004年にはザルツブルク音楽院教授、2004年3月からはウィーン国立音楽大学教授として後進の指導にもあたっている。



### シュテファン・ドール(ホルン)

Stefan Dohr, horn

#### ベルリン・フィル首席

ドイツ生まれ。1985年フランクフルト・オペラ管弦楽団の首席ホルン奏者に就任、2年後にはバイロイト音楽祭管弦楽団、その後ニース・フィルハーモニック管弦楽団、ベルリン放送交響楽団にて首席を歴任。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団には1993年より首席ホルン奏者として就任。また、ソリストとして、さらにベルリン・フィル団員との数多くのアンサンブルのメンバーとして活動するほか、ハンス・アイスラー音楽大学およびカラヤン・アカデミーで指導も行っている。